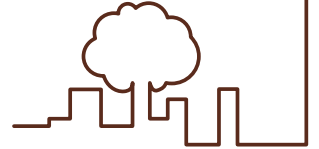




令和4年度

# ウッドシティ TOKYOモデル 建築賞



受 | 賞 | 作 | 品 | 集



東京都

TokyoTokyo



概要

東京都では、木材の大消費地・東京において、新たな木材需要を喚起することで、多摩地域をはじめ全国の森林循環を促進し、林業・木材産業の成長を図ることを目的とし、木材利用の新たな可能性を開拓する革新的・モデル的な建築物又は木質空間を表彰しております。

本年度は、都市部におけるオフィスの木質化のモデルとなる作品を表彰する「オフィス木質化賞」を新設し、コンクールを実施しました。

応募対象

- ・東京都内に所在すること。
- ・公開可能な非住宅の施設であること。
- ・構造材や内装材などの全部又は主要な部分に国産材を使用していること。
- ・直近5年以内(平成29年4月1日から募集開始の前日まで)に竣工した木造及び混構造建築物、又は直近5年以内に木質化した空間であること。
- ・建築基準法等各関係法令を遵守していること。
- ・同一の建築コンクール等において、知事賞や大臣賞の受賞歴がないこと。

審査における着眼点

- ・国産材の特徴や良さを活かし、有効活用しているもの
- ・先進的な木材利用の普及に寄与するもの
- ・都市部における建築物の木造化、木質化の波及に寄与するもの
- ・建築物又は木質空間として優れたデザインであるもの
- ・建築等の過程において女性が活躍したもの(女性活躍賞のみの着眼点)
- ・都市部におけるオフィスの木質化の波及に寄与するもの(オフィス木質化賞のみの着眼点)

表彰

優秀作品については、

- ・東京都知事賞  
最優秀賞：1点  
女性活躍賞：1点  
オフィス木質化賞：1点
  - ・産業労働局長賞  
奨励賞：8点
- を贈呈しました。  
P3より紹介します。

審査経過

- ・令和4年7月7日から令和4年10月14日まで作品募集
- ・令和4年11月28日審査
- ・令和5年1月31日表彰式(「WOODコレクション(モクコレ)2023」開会セレモニーにて)受賞作品の発表

審査委員(五十音順)

- ・杉山 和佳子氏  
(一般社団法人日本インテリアコーディネーター協会 副会長)
- ・多幾山 法子氏  
(東京都立大学大学院都市環境科学研究科建築学域 准教授)
- ・原田 真宏氏  
(株式会社マウントフジアーキテクトスタジオ一級建築士事務所 主宰建築家、芝浦工業大学建築学部建築学科 教授)
- ・古谷 誠章氏  
(早稲田大学創造理工学部建築学科 教授)
- ・東京都産業労働局 農林水産部長

CONTENS

最優秀賞

01 | KITOKI (3p)

女性活躍賞/奨励賞

02 | やはた幼稚園 保育ルーム (5p)

オフィス木質化賞/奨励賞

03 | ARTFREAK BASE (7p)

奨励賞

04 | 桐朋学園宗次ホール (9p)

05 | 檜原 森のおもちゃ美術館 (11p)

06 | 北谷公園 (13p)

07 | 上智大学四谷キャンパス15号館 (15p)

08 | 一口坂中央ビル (17p)

09 | 城南信用金庫 高円寺支店 (19p)



01 |



02 |

©新 良太



03 |

©山内紀人



04 |

© Kawasumi・Kobayashi Kenji Photograph Office



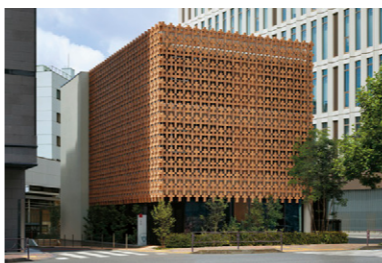
05 |

©齋部功

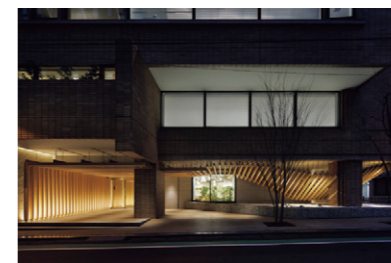


06 |

©中戸川史明



07 |



08 |

©Nacása & Partners Inc.



09 |

©川澄・小林研二写真事務所

★受賞作品所在地は、21ページ

※受賞作品掲載の図面の縮尺について  
一部の図面中にある縮尺表記は受賞者から提供された図面原本によるものです。  
図面原本を本誌のサイズに合わせて縮小などをおこなっているため、紙面上の縮尺は正確ではありません。





## 建物各所から木の良さが感じられるデザイン

- 1) 目のふれるSRCの低層部に木型枠を採用するのみならず、SRCに自然の模様（樹皮+虫羽）の凹凸をつけ、またその型枠をアートワークやサインに活用し、材の循環活用を実践した〈写真①③〉。
- 2) 栗の木を短縮乾燥させ丸太のまま低層部の意匠梁として設置した〈写真③〉。
- 3) 内部の梁は木質化するとともに、床は木のフローリングを採用した。自社ビルとしてではなく、都市部における木質化テナントビルとして受け入れられるかの挑戦を実践した。
- 4) 秋田県本荘由利森林組合（東証上場の森を管理する森林組合）との連携のもとデザインされたベンチ等も設えて広く利用される低層部空間をつくっている〈写真②〉。



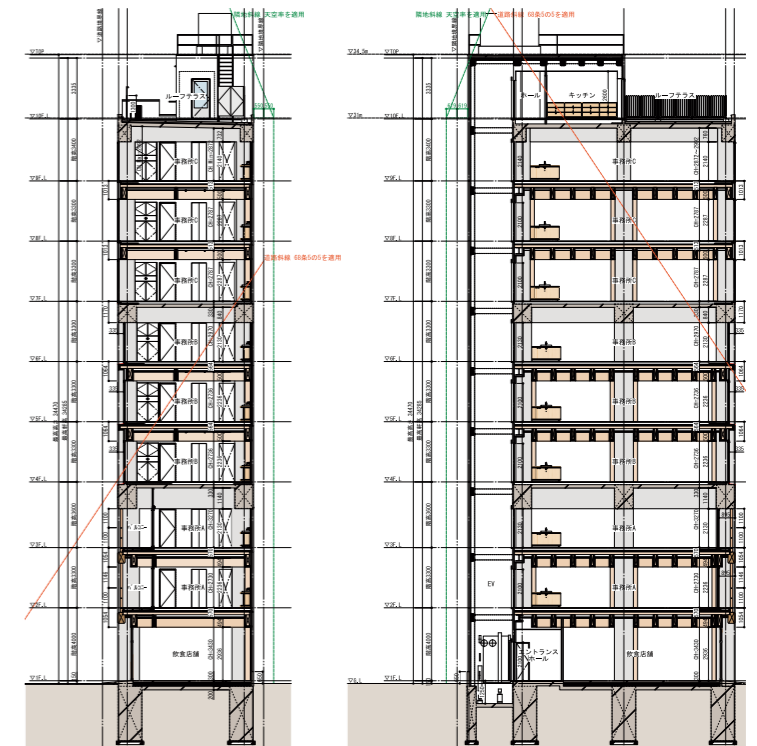
- ①加工した意匠木型枠 (NCマシン)
- ②秋田県本荘由利森林組合と連携してデザインしたベンチ
- ③自然模様のついたSRCと、栗の丸太梁 (最新の木材乾燥機械 woodbe を活用)

## 「日本橋兜町・茅場町再活性化プロジェクト」との連携

本プロジェクトは街の賑わいを取り戻すべく、2014年に発足したプロジェクトである。渋沢栄一のコトはじめの精神に寄り添い、新しい価値を生み出す街を目指して、この街ならではの魅力を創り出している。

KITOKI建設地は2021年8月に竣工を迎えた再開発ビルKABUTO ONEのすぐ西側に位置し、KABUTO ONE 中心部にある歩行者用貫通路に面する場所である。来街者からは、KABUTO ONEに直結する地下鉄連絡通路からエスカレーターで地上にあがると目の前に現れる建物であり、小規模の店舗が立ち並びエリア内部との結節の役割を担う。

街を訪れた人がふと「高層木造建築」を目にし、木造建築の魅力を自然と感じられるような効果を期待している。



## 受賞概要・講評

中央区所在のテナント型オフィスビル。3層飛ばしのメガストラクチャーの内部に木造CLT床を入れ込む、木造ハイブリッド構造を採用。また、内装及び外装を木質化し、建物の随所から木の良さが感じられるデザインとしている。

本作品については、「大手ゼネコンだけでなく、地域工

務店が施工可能であり、地域工務店やそこにつながる材木屋・林業家などを含めて継続的に生業を維持できる取組である点」「都市部での木質化の可能性を拓く先駆的な取組である点」「内部空間だけでなく、外部空間にも木質化が図られている点」等が評価された。

## 01 最優秀賞

# KITOKI

受賞者

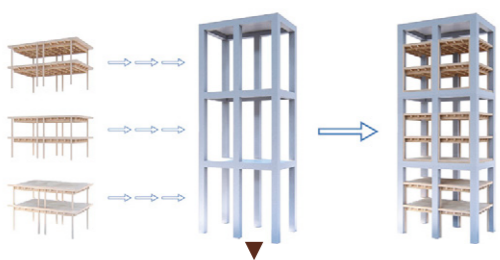
施主 平和不動産株式会社  
 設計者 株式会社ADX  
 施工者

## 都市における木材活用の可能性を拓く

KITOKIはSRC造による3層飛ばしのメガストラクチャーの内部に木造CLT床を入れ込むように組み合わせた10階建ての店舗兼オフィスである。コンクリートの持つ耐久性と、木造建築の軽やかさのコンビネーションにより都市の木質化に新しい可能性を拓いた。

本件のようなハイブリッド木造構造を採用することで、

構造上はどんなに階数を増やしても、材料の調達から設計、施工、将来的なメンテナンスまで、2～3階建ての低層木造建築で普及している方法を活用できる。これにより、低層木造建築を手掛けてきた工務店・職人などの人材を高層木造建築にも起用でき、高層木造建築の普及率向上に貢献する。



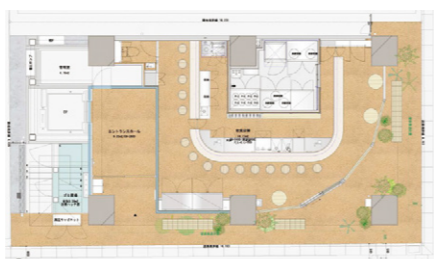
メガストラクチャーに木造建築を組み合わせるメリット

建物が軽量化

増改築しやすい

現場で排出するCO<sub>2</sub>削減

RC造の建築の場合 約 826t eq.  
 約 27%削減  
 KITOKI (木造ハイブリッド) の場合 約 601t eq.



1階平面図



7階平面図





## 02 女性活躍賞/奨励賞

©新良太

# やはた幼稚園 保育ルーム

**受賞者** 女性活躍賞  
学校法人八幡学園  
やはた幼稚園 園長  
関 政子

**奨励賞**  
施主 学校法人八幡学園  
設計者 有限会社ビルディングランドスケープ  
施工者 株式会社中島工務店

### 簡易で高耐力な楕型耐震壁とLVL被覆耐火柱を用いて岐阜県東濃地域の木材と職人技で実現した「地産都消」の1時間耐火都市木造建築

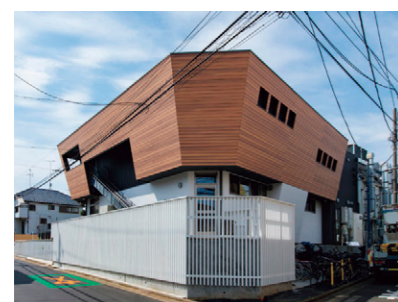
地域で人気の幼稚園に企業主導型保育施設を併設するため、既存RC幼稚園舎に、保育室と多目的室を備えた木造耐火2階建の園舎を、一体として増築した。

#### 「地産都消」の中大規模都市木造建築のモデルとして

岐阜県東濃地域の木材と職人技による「地産都消」の都市木造建築を探索。併せて都市の建設地と林産地の山とを繋ぐ木育活動を実施した。

岐阜県東濃地域の木材は、JAS材と併用して「ぎふ性能表示材」を適材適所に使用。また、多くの職人さんが岐阜県加子母から東京の現場に赴いて施工にあたることで、林産地に利益が還流することを目指す枠組みとしている。園では工事過程の公開や木の産地を訪ねるツアー、東濃ひのきによる卒園制作などの木育活動を積極的に行い、園舎をきっかけとした加子母の方々や園児や父兄、地域の方々とのつながりにより竣工後も継続している。

2階の外壁仕上げには耐火構造認定工法を用いることで木造住宅密集地域の建築物でありながら岐阜県産スギ材をあらわしで使用することを可能とし、周辺の景観に温もりを生み出すことも目指した。



岐阜県産スギ材で木の温もりのある景観を創出



岐阜県加子母「木のふるさとツアー」



東濃ひのきを用いた卒園記念制作

## 高耐力構法を純木造の延長で施工できる「楕形耐震壁」

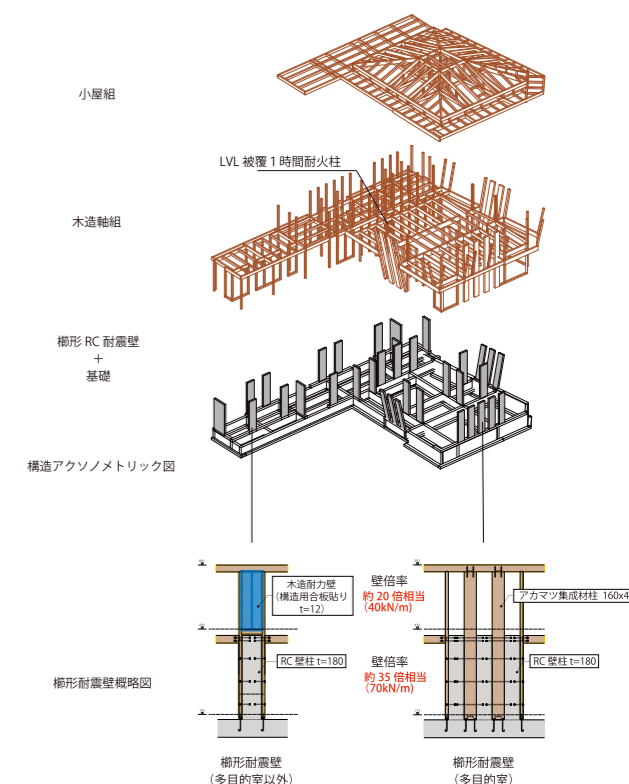
空間に対して耐震要素を最小にするため、RC柱と木の柱とを交互に配し一体化した、高強度な楕形耐震壁を外周を中心に分散配置した。

この構法によって広がりのあるおらかな平面構成が可能となり、見通しの良い1階保育室、そしてプロジェクト教育や子育て支援のために分割しても一体としても使用可能な2階多目的室といったフレキシブルなプランを実現した。

施工は通常の木架構と同様に建方を行ったのち、耐震壁の木の柱の間にRC壁柱の配筋を行い、柱を頼りに型枠を建て込んでコンクリートを打設。支保工が少なく低コストで純木造の延長で施工可能であることが特徴であり、中大規模木造の特殊な構法に不慣れな工務店でも施工が可能な工法のモデルとなることを目指している。



1階保育室 高耐久かつ簡易な「楕形耐震壁」により明るく見通しが効く保育室を実現

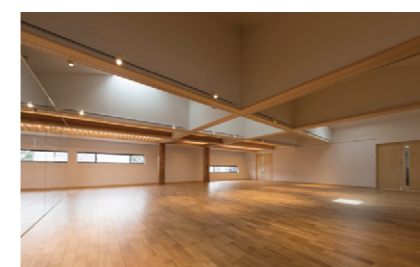


## 研究開発に参画した「LVL被覆1時間耐火構造柱」

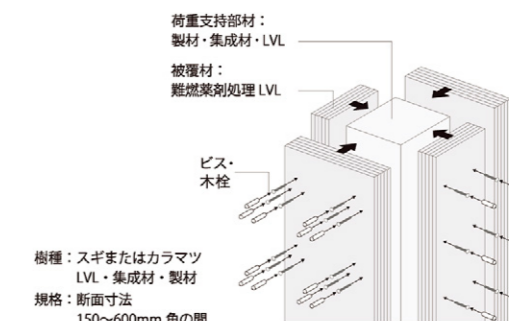
2階多目的室内に自立している木の構造柱は、160mm角の檜材の柱を、難燃処理した60mm厚のLVL材で被覆することで1時間耐火柱とする「LVL被覆1時間耐火構造柱」(製造：株式会社キーテック)である。全国LVL協会の開発に参画していたため、先駆けて本プロジェクトで採用した。

石膏ボードやセメントなどの無機材料を用いる必要がなく、「木で木を耐火被覆する」という環境負荷の小さい耐火構造の普及に向けた布石としている。

既にLVL被覆1時間耐火構造の梁も大臣認定を取得しており、より幅広い部材へと展開するための研究開発を継続している。



2階多目的室 深い屋根の下を分割可能として多様な教育に対応。奥にLVL被覆1時間耐火柱



LVL被覆1時間耐火柱

## 受賞概要・講評

中野区に所在する私立幼稚園園舎の増築。木の質感を活かした、温かみのある保育空間を実現した。また、岐阜県産材を使用し、「地産都消」のモデルを示すとともに、産地ツアーや工事過程の公開等による木育活動にも積極的に取り組んでいる。

### 女性活躍賞

園長の関氏は、木の質感を活かした空間づくりの構想を実現するため、設計者や施工者と想いを共有し、設計、施工チームをまとめながら議論を進めるなど、木造化に大きく貢献した。また、木育活動にも積極的に取り組んでいる。女性活躍賞については「技術者という立場ではないながら、木造建築に大きく貢献している点」「園長が熱意をもって取り組んでいる点」等が評価された。

### 奨励賞

本作品については、「設計者はLVL材を活用した耐火構造柱の開発に参画しており、材料の開発にまで踏み込んで木造化に取り組んだ点」「使用木材の産地である岐阜県の職人も一体となり工事過程の公開や産地ツアーを行うなど、地産都消モデルを探索している点」等が評価された。





M2F Lounge

## 03 オフィス木質化賞/奨励賞

©山内紀人

# ARTFREAK BASE

受賞者

施主 株式会社アートフリースク  
設計者

### 木の香りがするオフィス

本施設の立地場所は準防火地域に位置することから、3階層となる本施設については、準耐火建築物等（準延焼防止建築物）とする必要性があった。一方、本施設については、「木の温かみのある空間の実現」を目指していたこともあり、内装木質化のみならず、柱や梁といった構造部分についても木をあらわしで使用したいという想いもあり、今回それを両立する手段として建築基準法施行令第136条の2で定める技術的基準に適合する建築物として計画した。

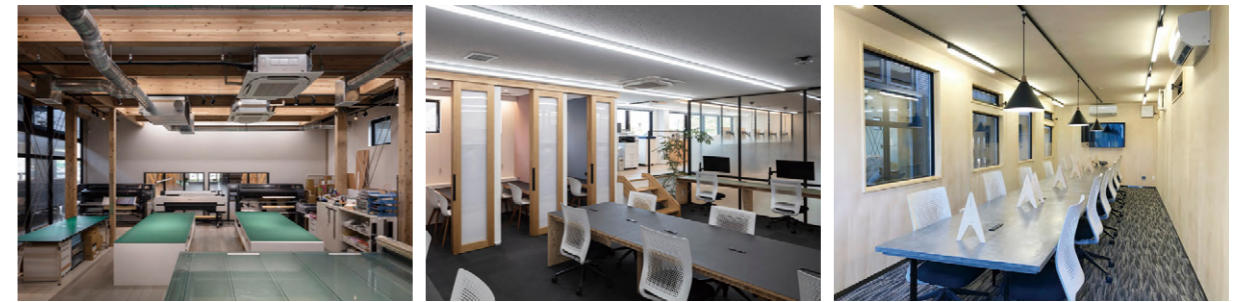
既存鉄骨造の建物の内部に木造3階を増築する計画であったため、既存の外壁や窓の性能を向上させることで外部からの貫い火や内部からの火災噴出のリスクを低減し、内部の柱や梁には燃えしろ設計による準耐火構造を用いることを可能にした。また、3層吹き抜け空間の木質化を実現するため、既存鉄骨造と増築木造部分とのエキスパンションジョイントの納まりを工夫したり、床面積を確保するためにトレーラーハウスを活用し内装制限に配慮したり、耐震性能や防火性能を確保することによって木質化に成功した。トレーラーハウスの内装材においても、積極的に木材を使用しており、「木の温かみのある空間の実現」ができたのではないかとと思われる。



Facade



1F Entrance



1F Fab.

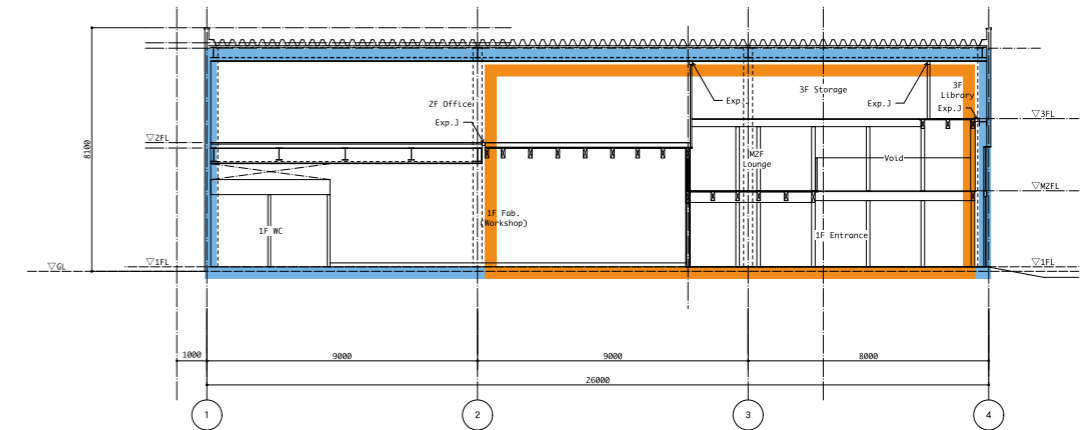
2F Office

1F Meeting Room (Trailer House)

### 木質化を実現するためのDetail(耐震性能の確保)

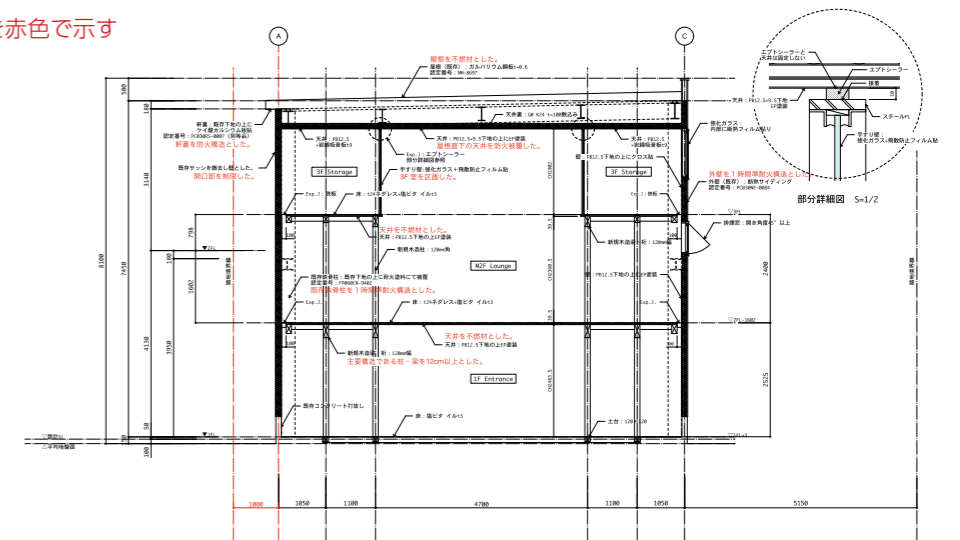
既存鉄骨建物と増築木造部分との間にエキスパンションジョイント (Exp.j) を設置

木造 (増築部分)  
鉄骨造 (既存部分)



### 木質化を実現するためのDetail(防火性能の向上)

防火性能を向上した部分を赤色で示す



### 受賞概要・講評

江戸川区に所在する空間デザイン事業を展開する会社の自社オフィス。既存鉄骨造倉庫を木造により増築するとともに、木質化し、燃えしろ設計等を用いることで、建築基準法に適合する木造建築・木質化を可能にした。

#### オフィス木質化賞

近年の多様化する働き方に対応するオフィスとして、設計する過程で持続可能な環境への配慮のため国産材による木造・木質化にもこだわり、増築部分の構造材をあらわしで使用するにより、木のやさしさや温もりを感じられる空間を実現した。本作品は、「増築部分の構造材をあらわしで使用するなど、抑制の効いたバランスのよい木の空間を実現している点」等が評価された。

#### 奨励賞

本作品は、「燃えしろ設計を用いることで、建築基準法の制限の中で木質化を実現する一つの例を提示しており、木質化の普及に貢献する設計である点」「鉄骨造2階建ての建物を木造3階建てに改築しており、法令等の規制の中でも工夫が凝らされている点」等が評価された。





© Kawasumi・Kobayashi Kenji Photograph Office

## 04 奨励賞

# 桐朋学園宗次ホール

**受賞者** 設計者 隈研吾建築都市設計事務所  
 設計者・施工者 前田建設工業株式会社  
 設計者・施工者 住友林業株式会社

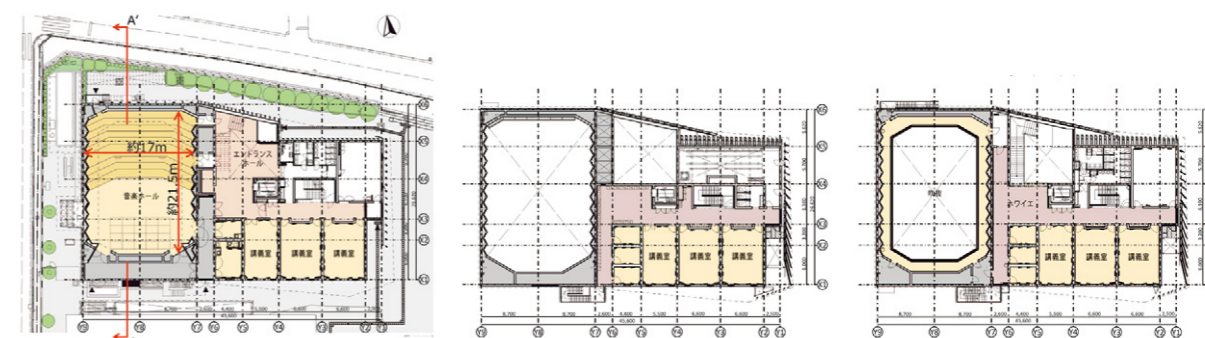
### 木が織りなす音楽の場

世界初のCLT現しによる折板構造を実現させた木造音楽ホールである。ヒノキ・スギのハイブリッドCLTが構造・防火・音響に寄与し、木材の優しい音響効果によって世界最高クラスの音響空間を実現した木造3階建ての建物である。外観の楽器の弦に着想を得たりズミカルな木製ルーバーや、内部のCLTによる音響拡

散体によって木の温もりを建物の内部外部に存分に感じさせる。世界的指揮者やピアニストなど数多くの著名な音楽家を輩出し、日本でも最高峰の音楽教育が行われる学校に相応しい、楽器そのもののような、「木が織りなす音楽の場」となった。



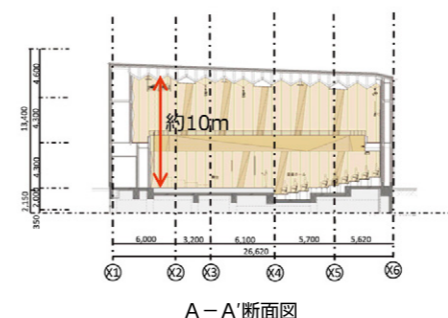
敷地面積：41,341.37㎡  
 建築面積：1,340.02㎡  
 階数：地下1階 地上3階  
 最高高さ：13.498m



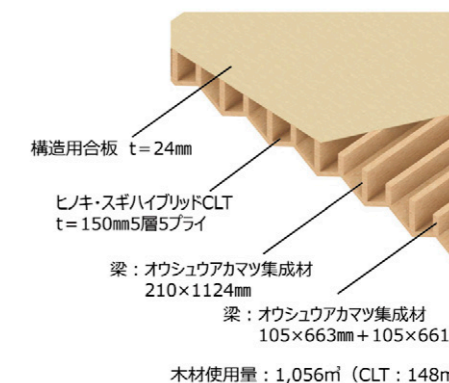
1階平面図

2階平面図

3階平面図

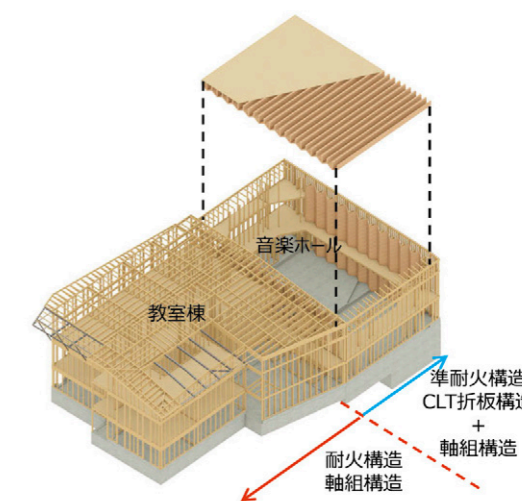


A-A'断面図



### 「折り紙」にヒントを得たCLT折板構造

音楽ホールは高さ約10m、幅約17m、奥行約21.5m、座席数は可動席も含めると最大234席と小ぶりながらフルオーケストラの演奏を可能にする広い舞台を持ち、舞台と客席の割合はおよそ1対1である。ホールは木質特有のやさしい反響で、残響時間は満席時でおよそ1.7秒である。CLT単体ではなく、集成材や構造用合板を組み合わせた複合部材として、「折り紙」にヒントを得たCLT折板構造によって音楽ホールの壁と屋根を構成している。建物全体は木造軸組を基本とし、教室棟と音楽ホール棟に分かれている。計画地は準防火地域に位置し、延床面積が1,500㎡を超えることから、みなし別棟を適用し、耐火構造と準耐火構造とすることで、音楽ホール棟のCLT折板構造(木造)あらしを実現した。



### 受賞概要・講評

調布市に所在する桐朋学園内に建設された木造音楽ホール。世界で初めてCLTあらしによる折板構造を用いて建設された。

本作品は、「完全木造での建築に挑戦した非常に意欲的な取組である点」「木材の優しい音響効果に着目しており、木の可能性を切り拓く作品である点」等が評価された。





建物正面外観、建物木部、外部階段、デッキに檜原産材の木材を使用。階段・デッキ・柱は桧、壁面・軒は杉を使用している。

©齋部功

## 05 奨励賞

# 檜原 森のおもちゃ美術館

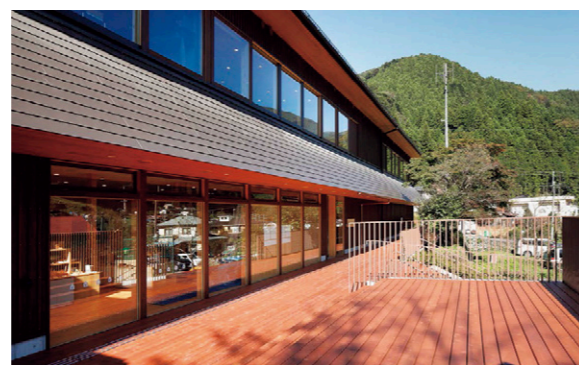
受賞者

施主 檜原村役場  
設計者 オークヴィレッジ木造建築研究所

檜原村は東京都でありながら豊かな森の中にある。施設は子供の頃から木に親しんでもらう事を目的とした木育施設となっており、おもちゃや遊びを通して檜原の魅力を伝え、多世代交流を楽しむ体験型の美術館となっている。また建物に使用している木材（構造材、内外装材）は全て檜原産材を活用し、持続可能な森林育成に貢献する事も目的としている。

### 木材利用の工夫、大空間を生み出す木造架構

館内で使用されている木のおもちゃや遊具の一部は、隣接するおもちゃ工房で檜原産木材を使用して製作されている。建物の木材は構造材から内外装材に至るまで、檜原産の杉、桧、榎を使用し、館内を上足とする事で、素足で桧のフローリングや遊具に触れられるよう考慮した。構造材は環境負荷を掛けない無垢材を使用する為、2階の床を支える梁は合成梁を採用し梁成を300mm以下にした。柱も檜原産材を使用。檜原産木材を多く活用する事により持続可能な森林育成に貢献する事を目指した。また、施設に多くの木材を使用する事により、清潔感があり、利用者にとって五感に響く、体に優しい室内空間となっている。



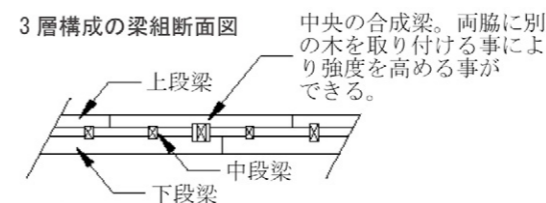
広いウッドデッキで外遊びや様々な催しも可能



1階プレイゾーン。手前は、左からボールドリング、木のたまごリバー

### 大空間を生み出す木造架構 — 3層構成の梁組、合成梁

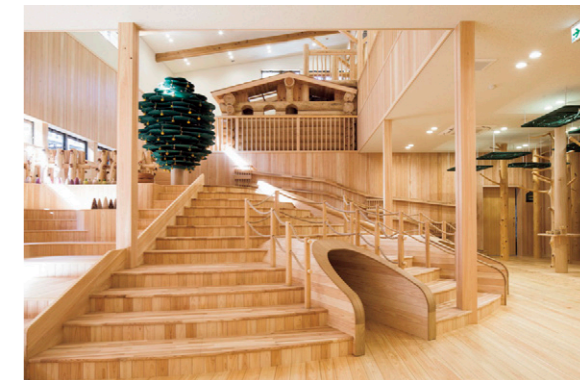
合成梁（梁の両側面に別の木材を取り付けて、梁の断面h寸法を大きくしないで強度を確保できる梁。）と上段梁、中段梁、下段梁をそれぞれ直行させた3層構成となる梁組とし、梁成（梁のh断面寸法）を最大でも300mm以下とした。また屋根を支える登り梁は方杖を設置し、荷重を支えるスパンを出来るだけ短くする事で梁成を270mmにすることが可能となった。このようにする事で環境に負荷を掛けない無垢材を使用できるようにした。無垢材は檜原産材を使用し、運搬時に排出する二酸化炭素の排出量を抑え、豊かな檜原材の自然を維持し、より多くの人が檜原の自然を体験する事を意識した。



梁工事写真。梁を井桁状に3層重ねる事で、梁成を300mm以下とし、無垢材での材料調達を可能とした。



合成梁 中央の梁に別の木材を沿わせて取り付けられている



1階プレイゾーンの吹抜け部に山に見立てた階段状遊具、中2階に山小屋、右手奥に森遊びゾーンが広がる。檜原産材の木を使った内装に木の遊具がたくさん並ぶ。

### 環境負荷低減の工夫や効果について

建物は桁行40.9m、梁間13.6mの2層木造建築物で多くの木材を使用する。檜原産材を使用する事により、調達にかかるコストや二酸化炭素排出を抑え、環境負荷低減を考慮、地元林業の活性化にもつながり檜原材の産業発展に大きく寄与するものである。また環境負荷の掛からない無垢材を使用する為、2階の床を支える梁の一部は木材を両側面から重ねた合成梁とし、さらに井桁状に3層重ねる事により、梁成を300mm以下にした。屋根を支える登り梁は方杖を使用してできるだけスパンを短くし、梁成を270mmにした。合成梁加工や、構造の架構を工夫する事で、無垢材での材料調達可能な梁断面寸法とし、独自の環境負荷低減目指した。

建物に使用する木材は檜原産木材を使用し、檜原材木材産業協同組合から支給された。また原木の生産される森林は東京都西多摩郡檜原村字539番地外の林有林（ふるさとの森）で、FSC認証を受けた林有林となっている。



中2階のミニ丸太小屋

### 受賞概要・講評

檜原村に所在する体験型の木育施設である。建物には、すべて地元檜原村から産出された木材を使用し、木が持つ魅力や温もりを身体全体で体感できる空間となっている。

本作品は、「子どもたちが木の良さ、ぬくもりに触れることができ、木育の推進に寄与する点」「すべて地場産材を使用しており、木育及び地域の森林育成に貢献する点」等が評価された。





## 06 奨励賞

©中戸川史明

# 北谷公園

受賞者

施主 東急株式会社  
 設計者 株式会社日建設計  
 施工者 東急建設株式会社

### 「木を纏う」ことを通じ地域と人をつなぐ公園に

北谷公園は渋谷の北部の神南に位置し、かつては閉ざされた公園であった。生まれ変わった公園は「木」をキーマテリアルとし、マチに開かれて地域の人々が日常的に、また多彩なイベントのために集まることができるホットスポットとして変貌を遂げた。公園内のカフェ施設では「木を纏う」ことを通じてイベント時にはそれらを取り外して屋台とすることや、その屋台を固定するためのインフラとして広場の舗装に基礎や穴を設けるなど、木を様々な形で活用するための工夫を凝らしている。



### 都心部の街区公園の木質化への提言 —ハード・ソフト両面から木を用いるために

**キーマテリアル＝「木」** 周辺にはマテリアルの素地の良さを表現している建物が多い。周辺との調和や公園の植栽やベンチとの相性にも配慮し、木を公園全体のキーマテリアルとした。

**適材適所の木質化** ただ、防火地域で構造に木を用いる難易度は高く、都心における普遍的な木質化として、非構造材に用いかつソフト面からも効果的な活用を考えた。

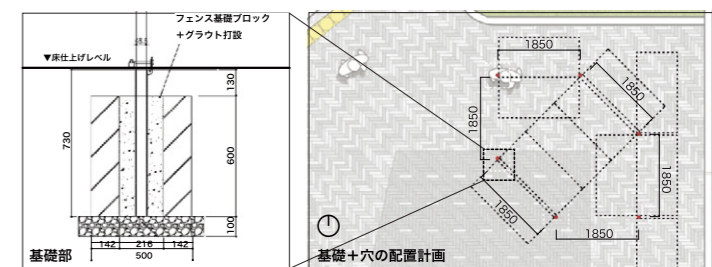
**限られた提供材を活かす** 多摩産杉材を採用したが数量が限られていたため節の量や色合いを管理し、手に触れる箇所、雨掛かり、軒下等に応じた配置とした。

**変化を見越したデザイン** 木の経年変化を見越し下地塗装をその色に合わせた。木材が時間をかけて景観に調和していくことを付加価値と捉えた。



### アクティビティを誘発する木外装と外構

公園は倉庫が限られているため、公園内で行う催し屋台のために、木外装を取りだしてつかうことを考えた(外装は被覆であると同時に、木材集積場)。外装はボルトで取外しがしやすく、加えて、痛んでしまった際に部分交換が可能な設えでもある。また、木質の屋台の配置を前提に舗装に6つの基礎+穴を設け、ここに単管を差し込み屋台を固定することで、運営管理がしやすくなるインフラとなっている。



### 場と建築、人を「木」がつなぐ

本公園では設計チームやデベロッパーが公園の運営(指定管理)にも参画し、様々な主体が公園を自由につかえる、地域に根ざした場づくりを目指しているため、設計段階からイベント等の開催や管理しやすさに配慮し外装を外し木質屋台への転用等を考えた。



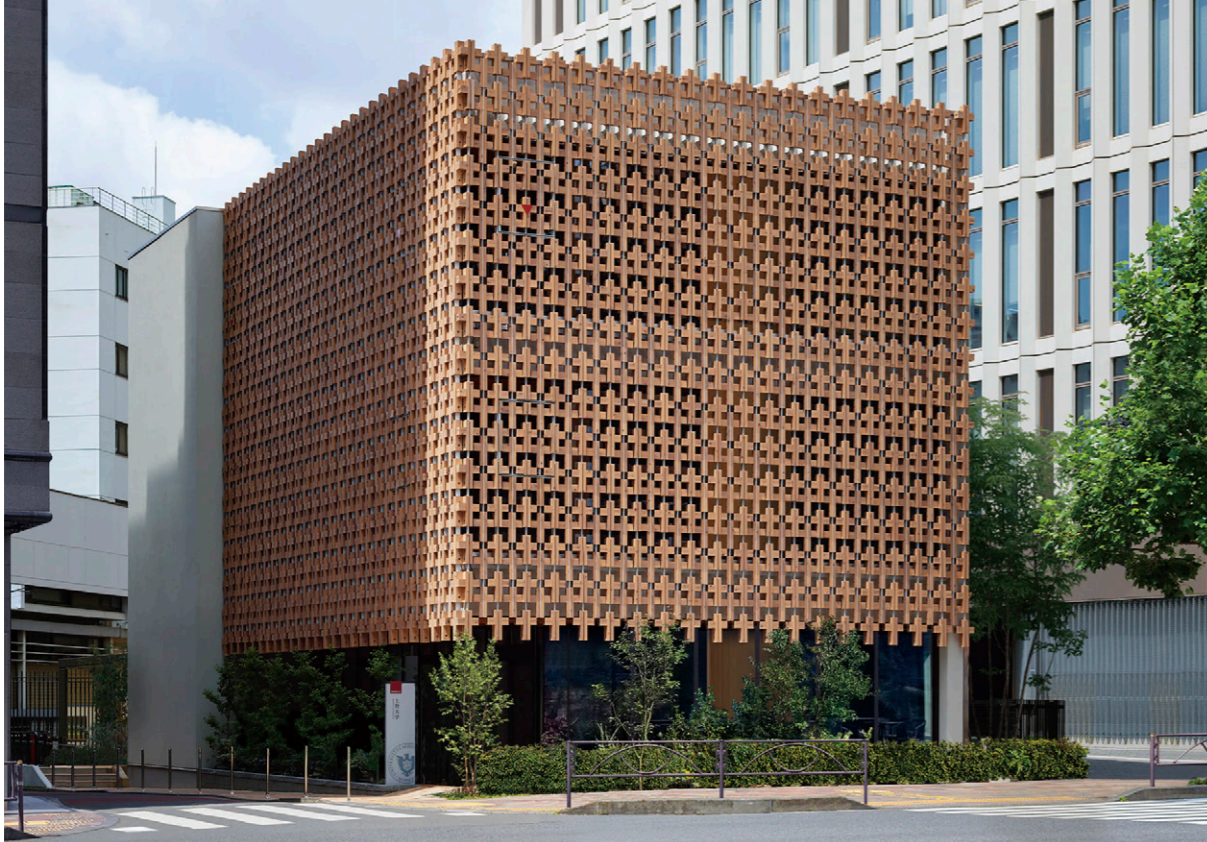
### 受賞概要・講評

渋谷区に所在する公園のリニューアル。「木」をキーマテリアルとして設計し、外装のルーバーには多摩産材を活用している。

本作品は、「木ルーバーを組み替えることで公園空間

を街の人自らが作り変えることができるなど、多くの人が木に親しむことができる点」「木材を多様に活用するアイデアが示されており、防災等を含めて、可能性が広がる点」等が評価された。





## 07 | 奨励賞

# 上智大学四谷キャンパス 15号館

**受賞者**  
 施主 学校法人上智学院  
 設計者 住友林業株式会社  
 施工者

### 都市のサステナブルなランドマーク

15号館は社会人向けの学びの場として計画され、都市部の建築でありながら、SDGs実現への活動の一環として、環境負荷が少なく、森林資源の循環利用推進での地球環境への貢献に繋がる木造での計画が選択された。

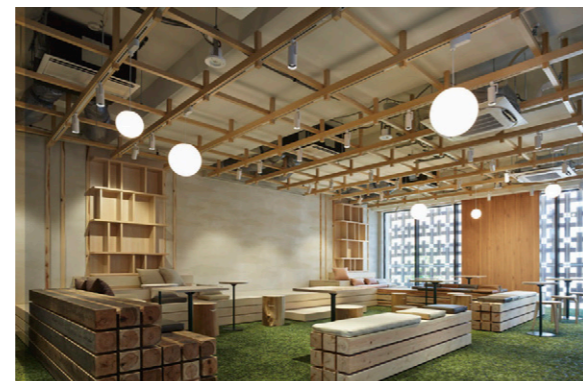
敷地は外部からのアクセスに非常に便利なため、1階は地域の防災倉庫と、「集う場」とし、地域住民も利用できるカフェの開業を予定している。2階は双方向の学び

を念頭に従来の講義スタイルにとらわれない多目的教室とした「学びの場」を、3階は講義後に議論を深める場であると共に、社会人の交流の場としてラウンジ的な「語らいの場」を用意した。

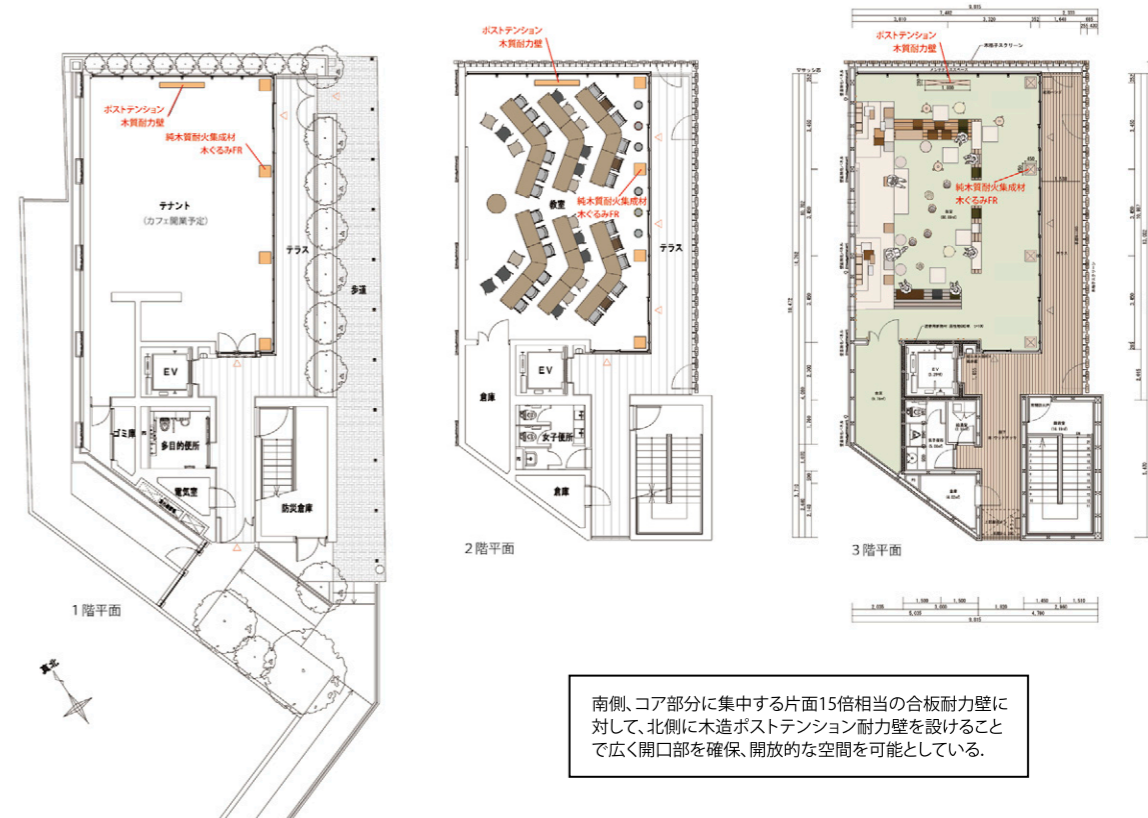
コロナによって社会の仕組みが大きく変わり、あえてリアルに集まる意味を再定義し、空間として表現することが最大のテーマであった。



2階教室 右側に当社オリジナルの純木質耐火集成材「木ぐるみFR」による柱、柱は450mm角  
 (構造要素: 330mm角 + 難燃処理部: 50mm + 仕上げ材: スギ10mm)でスパンは3,450mm



3階教室 右奥にカラマツ集成材を用いた木造ポストテンション耐力壁、壁は厚み210×幅1,800mm、高さ3,168mm(1・2階は高さ3,688mm) 家具は西川材を利用して製作



南側、コア部分に集中する片面15倍相当の合板耐力壁に対して、北側に木造ポストテンション耐力壁を設けることで広く開口部を確保、開放的な空間を可能としている。

敷地面積 : 38,337.58 m<sup>2</sup>  
 建築面積 : 163.05 m<sup>2</sup>  
 延床面積 : 478.35 m<sup>2</sup>  
 (1F 154.43 m<sup>2</sup>・2F 163.05m<sup>2</sup>・3F 160.87 m<sup>2</sup>)  
 耐火性能 : 耐火構造  
 構造 : 木造 一部 鉄筋コンクリート, 鉄骨造  
 規模 : 地上3階  
 用途地域 : 商業地域 第一種住居地域  
 防火地域 : 防火地域  
 工期 : 2021年5月 ~ 2022年4月

★主な材種  
 木ぐるみFR(柱):スギ(福島県)  
 ポストテンション壁:カラマツ集成材(長野県)  
 柱・梁:スギ(主に栃木県)  
 カラマツ集成材(主に長野県)  
 外部格子:スギ(多摩産材)

大学の建学の理念に連なる「多様性」「他者との交流」「対話」「相互協力」をキーワードに自然と交流・対話が生まれる空間を実現するため、各階にあえて「余白」である中間領域のテラススペース(溜まりの空間)を設けた。そこは木製格子の隙間から木洩れ日のような光が差し込み、多様な人々との出会いの中で自然と会話が生まれ、議論が深まる空間になると考えた。

多摩産スギ材を使用した木製格子は、木と鉄という異素材一体化、タテとヨコの異方向がクロスすることで、建学の理念の表現を試みた。特徴的な木製格子は都市の喧騒を切り離すと共に、地域のサステナブルなランドマークとなるだろう。



2階テラス 各階にあえて「余白」である中間領域のテラススペース(溜まりの空間)を設け、自然と交流・対話が生まれる空間を実現



夕景 建物内部から照らされた格子がやわらかく浮き上がる

### 受賞概要・講評

千代田区に所在する上智大学内に建設された校舎。多摩産材を使用した外装の木製格子は、建学の理念を表現したデザインとなっている。

本作品は、「外部格子に木材を使用する思い切った設

計であり、経年変化によって変色する木を「風情」としてポジティブに捉えてデザインしたと考えられる点」「都市においてたくさんの木材を使用する上で、効果的な方法である点」等が評価された。





©Nacása & Partners Inc.

## 08 奨励賞

# 一口坂中央ビル

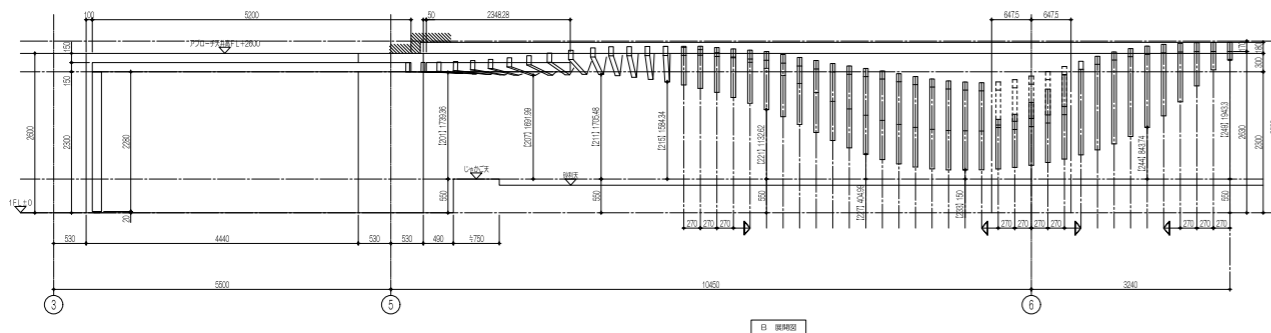
受賞者 施主 前田建設工業株式会社  
設計者

本オフィスは、前田建設工業株式会社の東京建築支店が入居するワークプレイスである。都内、千代田区に立地する既存建物「一口坂中央ビル」(1988年竣工)の6フロアを改修し、新しいワークプレイスへ変身させるプロジェクトとして2022年にリニューアルが完了した。

前面に通る一口坂は、今はなき一口稲荷神社の旧参道であり、近隣には靖国神社が存在する。エントランスでは、

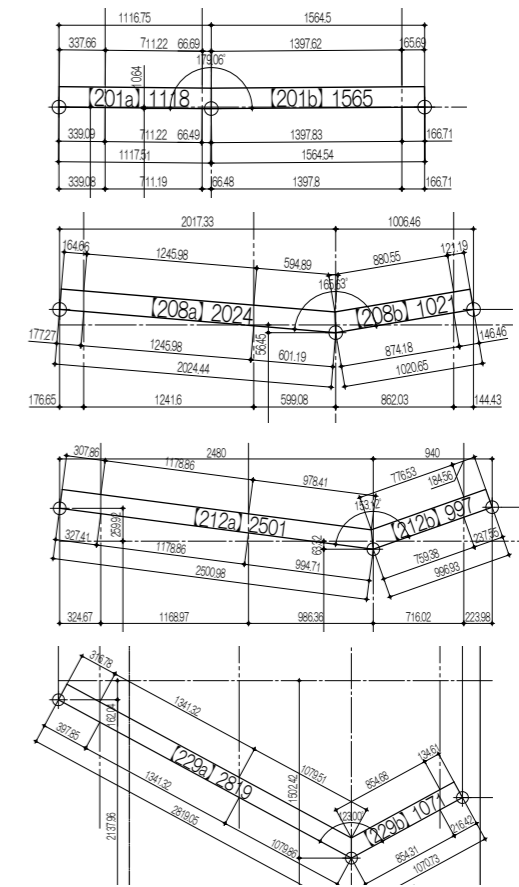
コンテキスト・歴史を題材に、神社建築の千本鳥居を模したデザインとするなど、周辺環境との呼応を目指した。

「一口坂中央ビル」は、30年以上に渡って、前田建設工業株式会社の東京建築支店オフィスとして利用されてきた。今回の改修目的は緑豊かな靖国神社周辺立地に相応しく、効果的な木材利用を視野に入れたリニューアル工事である。



エントランス部分・アプローチ部分に木材を利用した意匠デザインを採用した。75mm×150mmのホルダーを角度を変えながら配置し、動きのある印象を持たせ、旧参道の印象を取り入れるため建物内部へと続く鳥居型のアプローチと接続することで建物との一体感を持たせている。

使用木材は外部にあることから水溶性の薬剤を乾式加圧処理することにより耐久性を持たせ、かつ水性シリコン系木材保護塗料を塗布することにより灰色化を抑制している。ホルダーの加工にはBIMのパラメトリックデザイン手法を用い、形状を自動作成することでスタディーを多数作成し一番印象的な形状を採用した。自動作成したホルダー形状を製作図として用いることで、複雑な形状イメージの実現を可能にしている。



### 受賞概要・講評

千代田区に所在するオフィスビルエントランスのリニューアル。エントランス及びアプローチ部分には岩手県産材のホルダーを使用し、靖国神社等が存在する近隣環境と調和したデザインとなっている。

本作品は、「旧稲荷神社の歴史的な文脈を引き継ぎ、奥行きのある都市空間をつくるデザインである点」「限られたスペースに効果的に木材を使用している点」等が評価された。





## 09 奨励賞

©川澄・小林研二写真事務所

# 城南信用金庫 高円寺支店

**受賞者**  
 施主 城南信用金庫  
 設計者 株式会社佐藤総合計画  
 施工者 高松建設株式会社

『まちの森』環境・地域と共に生き続ける 信用金庫

### 木質ハイブリッド造・微気流輻射空調・保育所併設への業界初のチャレンジ

信金業界トップランナーの城南信用金庫による支店建替計画である。新たな高円寺支店には地域のコミュニティとの関わりを深め、古くからのお客様と子育て世代の若いお客様、両方を引き付けて時代の流れに柔軟に対応する「一歩先の魅力ある店舗」が求められた。

金融機関としての安全堅固性を前提とし、「環境・地域・社会ニーズ」の3つのテーマに基づいて、木材を最大限に活用（木質ハイブリッド造を採用するなど）するとともに、事業誘致により保育所を併設することで、世代を超えて愛着が持たれるまちの顔となる「新店舗」を実現した。

### 福島県産材の活用とCO2排出量低減

東日本大震災への対応として、福島県産材（安全検査済）のカラマツを構造物、内装材、家具等に採用し、「信用金庫による地方創生！」を積極的に支援。

原子力発電に頼らない社会への対応として、RC造の建築と比較して、建設時のCO2排出量を低減できる木質ハイブリッド構造形式を採用。

木材は光合成により固定化した炭素を貯蔵している。木造建物等を増やすことで、まちにもう一つの森林をつくる。

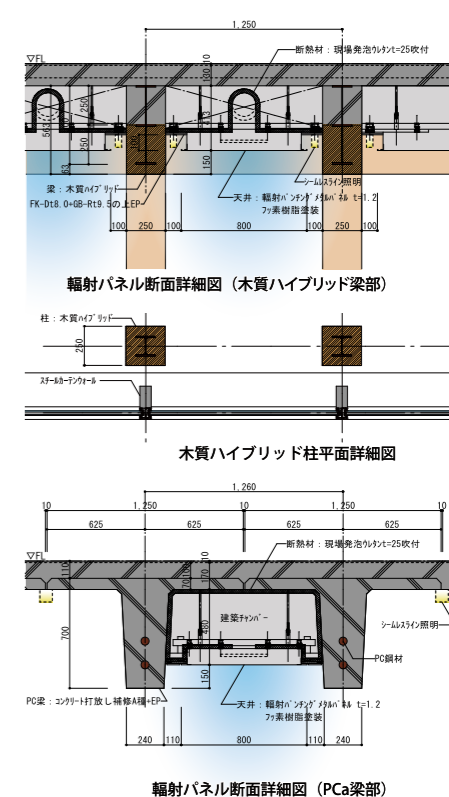


お客様を温かく迎え入れる1階エントランス  
 福島の林業活性化の一助となるカラマツ材の壁仕上げ、案内サインやモックアップオブジェの展示

### 意匠・構造・環境の三位一体による美しく快適な空間を実現

従来の空調システムでは、送風によるドラフトで、ムラのある室内環境となり、不快に感じることがあるため、執務空間は、構造PCa梁を利用した天井チャンバーによる微気流+輻射で全職員に優しい冷暖房を実現した。

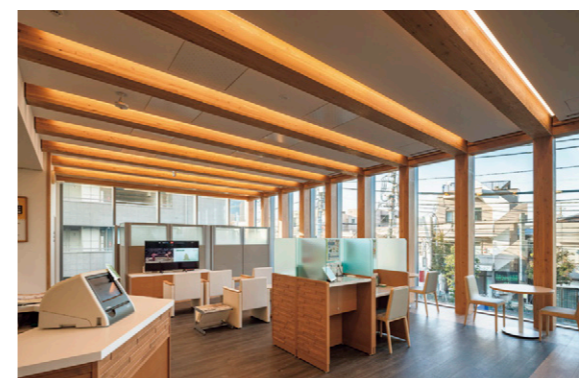
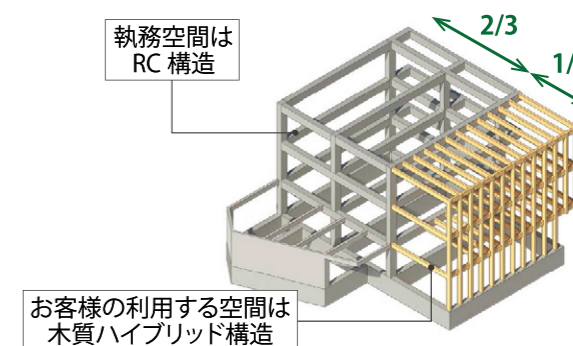
主に利用者エリアとなる木質ハイブリッド空間においても、木質架構を現しながら、微気流+輻射空調とペリメーターゾーンの局所空調を組み合わせ、快適な空間となるように工夫した。



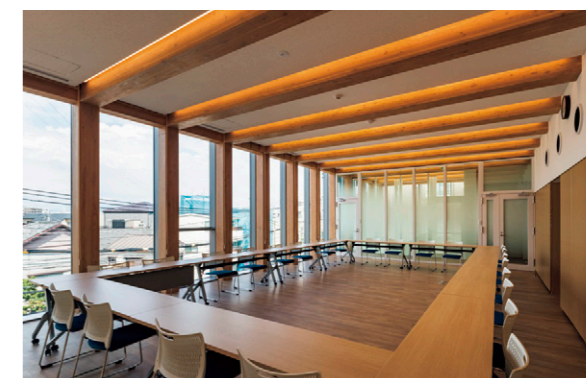
### 木質ハイブリッド構造によるエコモデル店舗

建物の約1/3の柱・梁に木質ハイブリッド構造を採用し、温室効果ガス排出の大幅な削減を図った、地球環境にやさしいモデル店舗。

RC構造部に水平耐力を持たせることで、木質ハイブリッド部には鉛直荷重のみ受けさせる構造計画とし、断面が細い柱・梁による、繊細な木質空間を実現した。



木に包まれた明るく親しみやすい2階信用金庫のお客様ロビー。モニターを設置し、発電量などを見える化することで、環境配慮への啓発。



繊細な木質ハイブリッド架構で大空間を実現した3階会議室。地域開放やスタートアップ企業へのテナント貸しにも対応できる。

### 受賞概要・講評

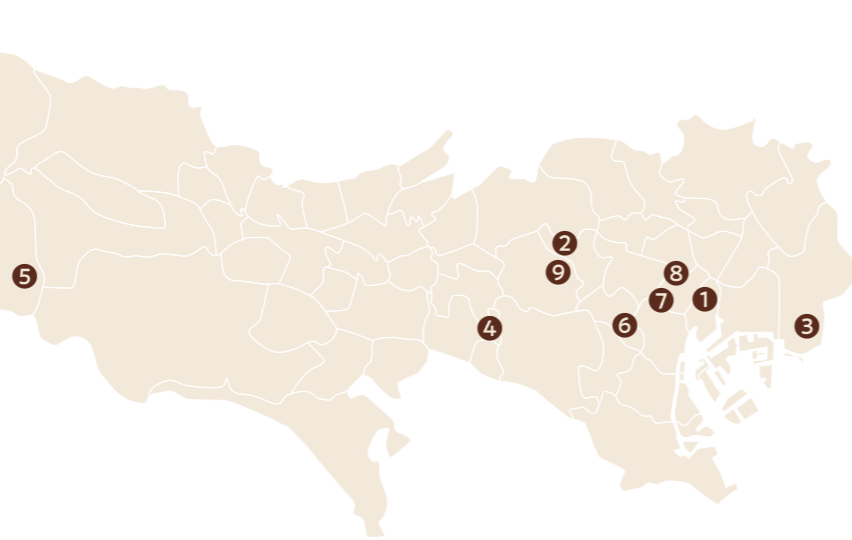
杉並区に所在する信用金庫支店の建替工事。福島県南会津産のカラマツ等を使用して内装を木質化し、「まちの森」としてのランドマーク性を持たせている。

本作品は、「通りに面した店舗側や接客空間を集中的

に木質化することで、木の良さを地域の方にもPRしている点」「木材の配置や効果的な照明により、木が目立つデザインとなっており、『多量の木材の使用』とは異なる形で木造・木質化を提示している点」が評価された。



# 受賞作品 所在地情報



## 最優秀賞

### 01 | KITOKI

〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町8番5号

●アクセス  
東京メトロ東西線「茅場町駅」より徒歩1分

URL  
KITOKI HP  
<http://kitoki.tokyo/>



## 女性活躍賞／奨励賞

### 02 | やはた幼稚園 保育ルーム

〒165-0034 東京都中野区大和町2-30-3

●アクセス  
西武新宿線「野方駅」より徒歩10分  
JR中央線「高円寺駅」より徒歩15分

URL  
やはた幼稚園 HP  
<https://yahatayouchien.com/>



●施設見学について  
施設見学をご希望の際は、  
有限会社ビルディングランドスケープ  
(tel. 03-5954-7633 i@buildinglandscape.com  
担当:西澤)までご連絡ください。

有限会社ビルディングランドスケープHP  
「やはた幼稚園 保育ルーム」:  
[https://buildinglandscape.com/  
portfolio-item/yahata\\_kindergarten/](https://buildinglandscape.com/portfolio-item/yahata_kindergarten/)



## オフィス木質化賞／奨励賞

### 03 | ARTFREAK BASE

〒134-0084 東京都江戸川区東葛西8-19-20

●アクセス  
東京メトロ東西線「葛西駅」より徒歩15分  
葛西駅より都バス9番のりば「東葛西8丁目」下車すぐ

URL  
ARTFREAK HP  
<https://www.artfreak.co.jp/>



●施設見学について  
施設見学をご希望の際は株式会社アートフリーク  
管理部 施設見学担当者 (03-6262-8760) まで  
ご連絡ください。

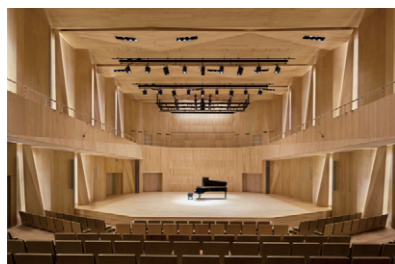
## 奨励賞

### 04 | 桐朋学園宗次ホール

〒182-8510 東京都調布市若葉町1丁目41-1

●アクセス  
京王線「仙川駅」より徒歩5分

URL  
桐朋学園 音楽部門 HP  
<https://www.tohomusic.ac.jp/>



## 奨励賞

### 05 | 檜原 森のおもちゃ美術館

〒190-0200 東京都西多摩郡檜原村小沢3783番地

●アクセス  
JR五日市線「武蔵五日市駅」下車  
西東京バス「1番乗り場 藤倉行き」乗車  
「小沢(檜原森のおもちゃ美術館)」下車  
(乗車時間約30分)

●入館料  
【一般の方】  
・おとな(中学生～65歳未満):1000円  
・子ども(生後6か月未満):無料  
・子ども(6か月～小学生):700円  
・シニア(65歳以上):500円  
・障がい者(\*1):無料

●施設見学について  
開館時間 10:00～16:00(最終入館15:30)  
休館日 毎週木曜日、年末年始ほか

●お問い合わせ先  
特定非営利活動法人 東京さとやま木香會  
TEL:042-588-4044 FAX:042-588-4045

【檜原村民(\*2)の方】  
・おとな(中学生～65歳未満):500円  
・子ども(小学生まで):無料  
・シニア(65歳以上):無料  
・障がい者(\*1):無料

※1 障がい者:身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方  
※2 檜原村民:檜原村内に在住、在学、在園している方

URL  
檜原 森のおもちゃ美術館 HP  
<https://www.hinohara-toymuseum.com/>



## 奨励賞

### 06 | 北谷公園

〒150-0041 東京都渋谷区神南1丁目7-3

●アクセス  
「渋谷駅」より徒歩7分  
「原宿駅」より徒歩11分  
渋谷ハチ公バス「渋谷区役所前」徒歩1分

URL  
渋谷区立 北谷公園 HP  
<https://shibuya-kitaya-park.tokyo/>



## 奨励賞

### 07 | 上智大学四谷キャンパス15号館

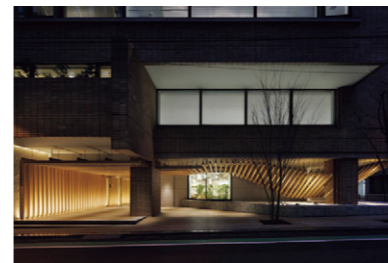
〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1

●アクセス  
JR中央線、東京メトロ丸ノ内線・南北線  
「四ツ谷駅」麹町口・赤坂口から徒歩5分

URL  
上智大学 HP  
<https://www.sophia.ac.jp/jpn/>



住友林業 HP  
中大規模木造建築(MOCCA)  
<https://sfc.jp/mocca/>



## 奨励賞

### 08 | 一口坂中央ビル

〒102-8215 東京都千代田区九段北4丁目3-1

●アクセス  
JR総武線、東京メトロ有楽町線「市ヶ谷駅」より徒歩8分  
都営新宿線「市ヶ谷駅」より徒歩6分

URL  
前田建設工業株式会社 HP  
東京建築支店・国際支店  
[https://www.maeda.co.jp/company/  
jigyousyo/map\\_20.html](https://www.maeda.co.jp/company/jigyousyo/map_20.html)



## 奨励賞

### 09 | 城南信用金庫 高円寺支店

〒166-0002 東京都杉並区高円寺北2-41-21

●アクセス  
JR中央線「高円寺駅」北口より徒歩7分  
早稲田通り沿い

URL  
城南信用金庫 HP  
<https://www.jsbank.co.jp/>



株式会社 佐藤総合計画 HP  
<https://www.axscom.jp/>





令和4年度

# ウッドシティ TOKYOモデル 建築賞

## 受賞作品集

●発行 .....

令和5年3月

●発行者 .....

東京都産業労働局 農林水産部 森林課  
東京都新宿区西新宿2-8-1 TEL.03-5320-4855

●制作 .....

株式会社トライ

●協力 .....

平和不動産株式会社  
株式会社ADX  
学校法人八幡学園  
有限会社ビルディングランドスケープ  
株式会社中島工務店  
株式会社アートフリーク  
隈研吾建築都市設計事務所  
前田建設工業株式会社  
住友林業株式会社  
檜原村役場  
オークヴィレッジ木造建築研究所  
東急株式会社  
株式会社日建設計  
東急建設株式会社  
学校法人上智学院  
城南信用金庫  
株式会社佐藤総合計画  
高松建設株式会社

(掲載順)



古紙パルプ配合率70%再生紙を使用



この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。